



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部



発行人：佐藤 寿一
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻
総合診療医学 内
Tel. 052-744-2951 Fax. 052-744-2951
E-mail: juichi@med.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No.36(2021.12) 本号の編集担当者 林寛之

【支部情報】

予定

1) 『中部ブロックポर्टフォリオ発表会 * 2022』

2022年3月5日(土) 会場 オンライン または名古屋大学医学部鶴友会館

2) 『第11回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会』

2023年11月13日(日)会場 富山県内

報告

1) 『第10回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会』

2021年11月14日(日)13:00~17:00 オンライン開催

テーマ:「COVID-19と共存する地域の在り方」

《一般演題》

山中章司「オンライン授業における医学生の学習環境及び態度 横断的観察研究」

坂元士月「新型コロナウイルス感染症による活動自粛が地域高齢者に与える影響」

島田真行「COVID-19 流行を背景に、患者の転帰が大きく変わった一例」

吉田英人「介護老人保健施設で集団発生した新型コロナウイルス感染症への対応経験」

渡辺史子「とやま安心介護ネットワーク(TAKN)の活動とネットワーク構築の実際について」

《教育講演》

伊関友伸(城西大学経営学部マネジメント総合学科 教授)

「COVID-19 にわが国の病院はどのように対応したのか」

大橋博樹(多摩ファミリークリニック 院長・日本プライマリ・ケア連合学会 副理事)

「COVID-19 対応最前線～現場と学会、両方のリーダーとしての経験から」

オンラインで行われた同会は、述べ 117 名の参加を得て、大盛況で行われた。「COVID-19 と共存する地域の在り方」という大テーマのもと、一般演題では医学生から、専攻医、指導医まで、研究、診療、アウトブレイク対策など COVID-19 に関わるテーマでバランス良く発表され、質疑応答も大いに盛り上がっていた。また教育講演では、伊関先生からは、普段なかなか聞くことができない経営、行政の視点から、COVID-19 と自治体病院の対応について俯瞰的にお話を伺うことができた。また大橋先生からは、COVID-19 アウトブレイクの最前線で診療をされているクリニック院長と、学会のリーダーという両方の視点で、現場の実情を生々しく伺うことができた。オンライン会議としての運営も滞り無く行うことができ、参加者の事後アンケートからも、トピックのバランスの良さと、テーマの内容、タイムリーさを含め大変好評であったことが伺えた。

【三重支部活動報告】

1) 三重大学総合診療プログラム ポートフォリオ発表会 開催

日時:2021年9月12日(日)9:30~12:00

会場:Zoomのブレイクアウトルームを用いてオンラインでの開催

各専攻医が発表したポートフォリオをもとに、様々なご意見をいただき、それぞれのポートフォリオのブラッシュアップに繋げることができた。

2) 総合診療 虎の穴 卷之十一 開催

「生活習慣病としての肝疾患」

日時:2021年10月7日(木)19:00～

会場:Zoomによるオンラインセミナー

演者:三重大学医学部附属病院 総合診療部 教授 山本憲彦

3) 第1回 総合診療セミナー虎の穴・外伝 開催

「誰もが出会うリウマチ・膠原病を治療する ～ステロイドと免疫抑制薬の使い方～」

日時:2021年10月25日(月)19:00～20:20 オンライン開催

講師:中島亜矢子 先生 (三重大学医学部附属病院 リウマチ・膠原病センター教授)

ジェネラリストの日常診療では、炎症反応高値、関節痛等でリウマチ・膠原病を疑うのに診断がつかないこと、また、リウマチ性多発筋痛症や高齢発症関節リウマチなどの治療を行う場面も少なくありません。

本セミナーでは、リウマチ膠原病性疾患をどう診断し、ステロイドやメトトレキサートをどう使うのか等、実践のポイントについてご講義いただきます。地域で、より質の高い診療の実践を目指すみなさまのご参加をお待ちしています。

【今後の予定】

1) 総合診療 虎の穴 卷之十二 開催予定

「身体診察は困ったときに助かるので、しっかりと学んでみましょう」

日時:2021年12月16日(木)19:00～20:30

会場:Zoomによるオンラインセミナー

演者:内堀善有(名張市立病院)、二宮隆仁(名張市立病院／三重大学総合診療専門研修プログラム)

【静岡支部活動報告】

1) 第9回静岡プライマリ・ケアフォーラム

静岡県支部では、下記の内容で第9回静岡プライマリ・ケアフォーラムをハイブリッド開催いたします。今回は、「with コロナ時代を迎えたプライマリ・ケア」をテーマとして、コロナ禍の中で成田検疫所長として陣頭指揮をとっておられた田中一成先生と、静岡県の新型コロナウイルス対策専門家会議の座長でいらっしゃる倉井華子先生に御講演いただきます。

ぜひふるってご参加ください。

日時:2022年3月19日(土)13:30-17:00

場所:静岡市静岡医師会館3階講堂(ハイブリッド開催※)

静岡県静岡市葵区東草深町327

※新型コロナウイルスの流行状況によっては、オンライン開催に変更する可能性があります。

テーマ:with コロナ時代を迎えたプライマリ・ケア

一般演題 2～4題(ポートフォリオ・研究・活動報告)

特別講演

1. 新型コロナ感染症と地域包括ケアシステム

静岡市保健所長 田中一成先生

2. COVID-19と感染症診療 ―もう一度原点に立ち戻ろう―

静岡県立静岡がんセンター感染症内科 倉井華子先生

参加登録：下記受付フォームから Web 参加 2021. 12/6～2022. 2/28、会場参加 2021. 12/6～2022. 3/16

<http://www.shizuoka-pho.jp/sogo/data/form/index/20220309>

3) 屋根瓦塾 in Shizuoka (主管：静岡県医師会)

2016年より静岡県医師会主管で開催された初期研修医対象のハンズオンセミナー『屋根瓦塾 in Shizuoka』ですが、新型コロナウイルス感染の影響によりしばらく開催できませんでした。今年はオンラインにて以下の要領で開催いたします。初期研修医の先生のご参加、心よりお待ちしております。指導医の先生方もぜひ初期研修医の先生方にお声掛けください。

日時：2022年2月11日(金・祝)午後

場所：オンラインでの双方向ワークショップ

参加対象：研修医(主として1年目)30名程度(1グループ10名まで×3)

WS形式：50分のセッション(スモールグループ)×3セッションを参加者が回る形式

WS内容：

- ①臨床推論(ファシリテーター代表：聖隷浜松病院 本田優希先生)
- ②意思決定支援(ファシリテーター代表：静岡家庭医養成プログラム 網分信二先生・松田真和先生)
- ③医療者のウェルネス(ファシリテーター代表：浜松医科大学地域家庭医療学講座 松井智子先生)

問い合わせ先：静岡県医師会

【富山支部活動報告】

〇とむじえり勉強会+オンライン懇親会

日程：毎月第2月曜日 Zoomでの開催

専攻医によるポートフォリオの領域に関するレクチャーと、ポートフォリオ発表の2部構成。司会進行などの運営業務も各専攻医が順番に担当し、協力しあって運営しています。8月度からは「タネ症例の部屋」という、特に1-2年次の専攻医を対象にした、PFになりそうな経験を自由に討論できる場も提供しています。

<9月>

レクチャーは「健康の社会決定要因とアドボカシー」でした。

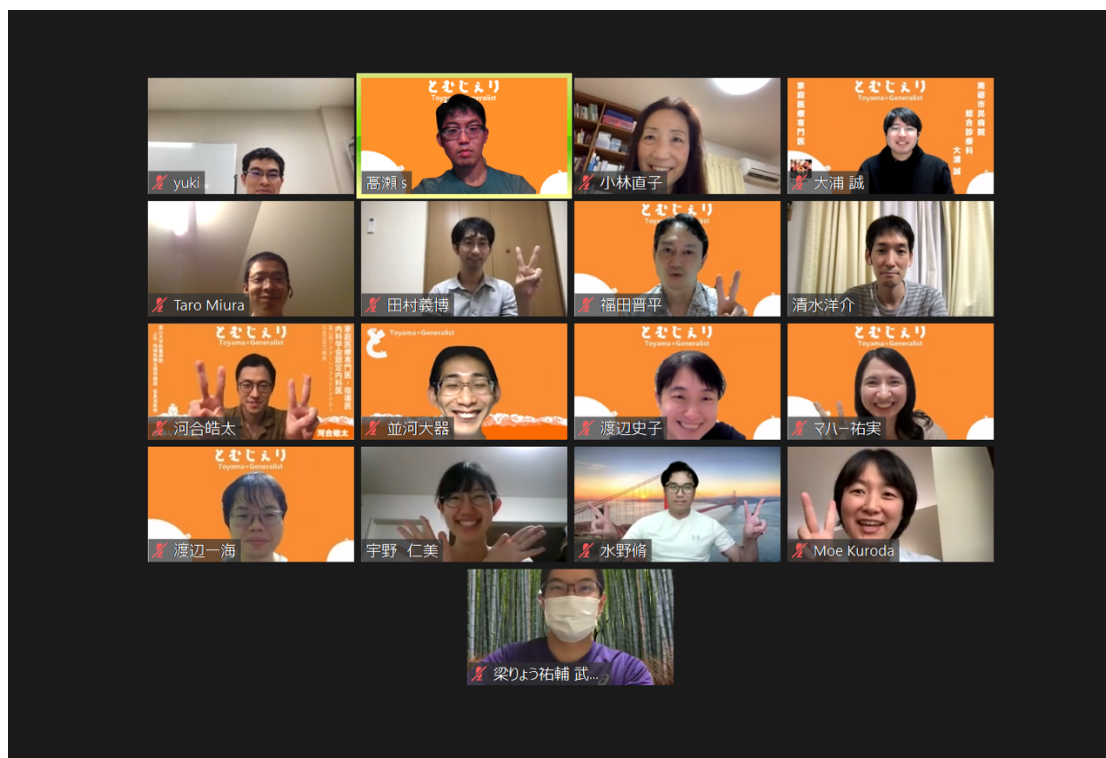
その人が病気になるのは、その人の自己責任なのか？その人の病気は決して自己責任ばかりではなく、環境や社会システム、ライフサイクルが影響していることも多いのです。専攻医の研修として、一人のプライマリケア医として、困難を抱える人にどのように手を差し伸べるか、具体的な活動にはどのようなものがあるのか、話し合いました。

PFは3名の専攻医の発表でした。患者中心の医療の領域、メンタルヘルス領域、終末期領域のポートフォリオ発表をしてくださいました。

<10月>

レクチャーは「医療者自身のケア」でした。今までなかった分野のレクチャーだったので、準備はなかなか大変だったかも。しかし網羅的な情報収集に基づく説明に、オリジナリティーのある解釈が加わり、とても楽しく学び合えました。どのような事例をPFにすべきかについては、仕事と家庭の両立や、医師患者関係、病院のストレスマネジメント関連の委員会など、具体的な例が参加者から挙げられました。

後半はPF事例検討で、今回は高齢者、未分化な健康問題、タネ事例の発表があり、とても盛り上がりました。



<11月>

レクチャーテーマは「複雑困難事例」でした。どのような事例が複雑性が高いのか、その解決の糸口は、などについてわかりやすい解説がありました。医療者自身の思い込みやバックグラウンド、経験不足も複雑性に影響すると思われる、日々勉強したり多角的に評価を受けたりすることが大切だと学びました。

後半のPF発表は「長期的な人間関係に基づくケア」、「個人への健康増進」、「プロフェッショナリズム」についてポートフォリオ発表がありました。タネ事例も盛り上がりました。

12月のとむじえり勉強会はお休みで、1月より再開の予定です

○慢性疾患勉強会

2021年度から「慢性疾患勉強会」という月1回の勉強会を開催しています。プライマリ・ケア医が外来や病棟で出合う頻度の多い疾患について、専攻医が主体となり学ぶ場所を作りたい、ということが始まりです。

8月30日の第5回慢性疾患勉強会はCOPDについて、富山大学総合診療部の齊藤先生(PGY7)にレクチャーしていただきました。

COPDの病態生理や疾患概念、検査、評価、薬物療法、非薬物療法、急性増悪時の対応などについてお話しいただきました。

呼吸機能検査(可逆性試験)やフローボリューム曲線の評価方法(呼気中期の下に凸なカーブは気流制限を疑う)や、急性増悪の頻度や、mMRCを用いた薬物療法決定の指標について、勉強になりました。また、食事療法で具体的にどのような食事を勧めるか、肥満の患者にはどのように指導するのか、呼吸器リハの具体的な方法は、などの非薬物療法について盛り上がっていたのも、総診らしいな、と思いました。

重症のCOPDについて呼吸器内科専門医の先生とどのように連携しながら診ていけば良いかについては、COPDに限らず、一般化可能な示唆を得ることも出来ました。

10月4日(第6回)のテーマは「心房細動」。専攻医2年目の並河先生が担当してくれました。抗凝固する?しない?、周術期の抗凝固療法、PCI後のDAPTや3剤併用をいつやめるか、急性期のrate/rhythm control、アブレーションなどについてわかりやすくまとめてくれました。

その後caseを出していただき、ブレイクアウトルームに分かれてcase based discussionを行いました。こちらもとても盛り上がりました。

11月29日に第7回慢性疾患勉強会が行われ「ピロリ菌感染症」について水野先生(PGY4)、戸田先生(PGY3)が発表してくれました。検査方法については列挙しつつも日常的によく見る検査であるUBTや便中抗原、リスク検診については詳しい説明がありました。治療方法についても、一般的な一次除菌や二次除菌、アレルギーや腎機能障害時の対応などについて述べられていました。

ディスカッションでは、小児に対するピロリ菌検査・治療、除菌治療後偽陽性に対する対応、他院での検査による除菌治療と効果判定の保険適応、薬剤選択、除菌後の上部消化管内視鏡検査フォロー間隔など、日常的に見る疾患だけに質問もたくさん上がりました。

全体を通して消化器内科専門医を持つ指導医がフォローしてくださり、それも勉強になりました。

今後も月1回のペースで続けていきたいと考えています。

○臨床研究に関するオンライン勉強会

今年度よりプログラムの専攻医・若手指導医対象のオンライン臨床研究勉強会が始動しました！

第3回目のおむじえり専攻医対象のオンライン臨床研究勉強会が、10月7日に開催されました！今回も講師に横浜市立大学/浜松医科大学の金子惇先生をお招きし、「質的研究」をテーマに、講義とグループワークを行っていただきました。

前半は金子先生が行われた Expert Generalist Practice の論文をもとに、家庭医の専門性・卓越性を研究するなら、リサーチクエスションは？デザインは？などを、ディスカッションを行っていきました。知識面についてご講義いただいた後、後半には質的研究全般についての疑問を小グループで話し合い、その後に金子先生にお答えいただき、こちらもとても貴重な時間となりました。

質的研究・混合研究はプライマリケア領域で欠かせなくなっているけれど、まだまだ学べる場が少ない・・・ということで、本日は気になっていたことが学べて嬉しかったとの声も聴かれました！次回は、これまで3回シリーズで勉強した知識をもとに、実際に

どうやって研究に落とし込んでいくか？ということで、2名の先生がたによる研究計画書の発表会を計画中です！どんな風にアイデアを形にしたのか？計画書ってどうやって書くのか？をディスカッションをまじえて勉強させていただきます。

とやま総合診療プログラムでは、今後も、大学のリサーチ・ミーティングや

各サイトと連携しながら、臨床研究について学べる場を提供していきたいと思っております。また次回のご報告もお楽しみにお待ちしております！

とむじえり
Toyama×Generalist

富山でのPBRN構築に向けたオンライン勉強会

～富山の臨床研究 はじめの一步～

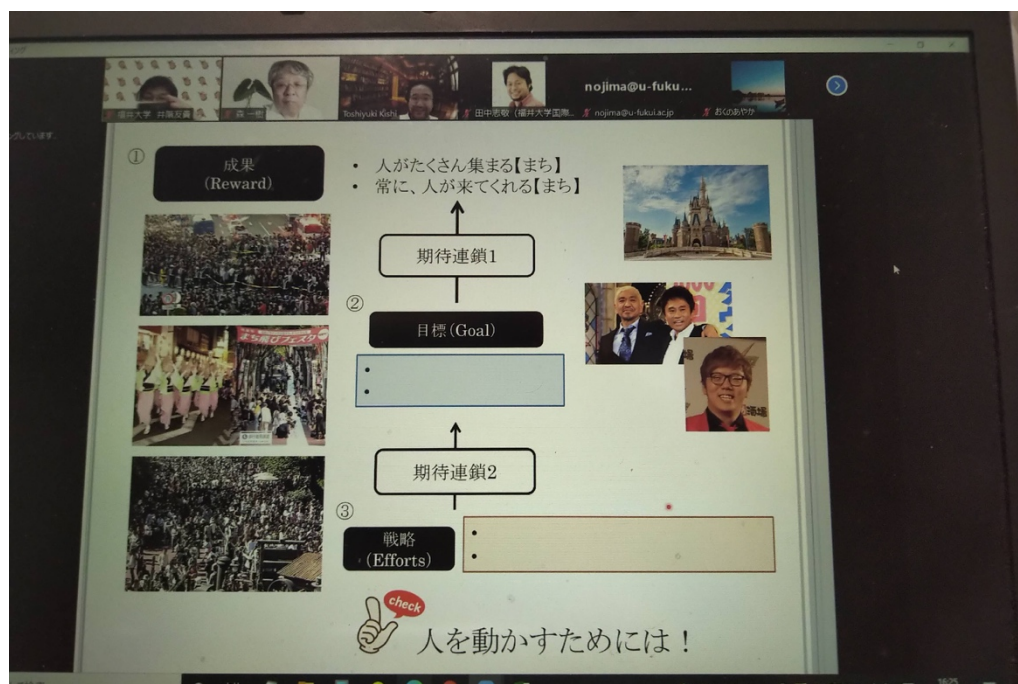
「質的研究・混合研究」

第3回2021年10月7日(木) 20:00～21:15

【福井支部活動報告】

1)健康のまちづくりアカデミー オンラインで再始動！

新型コロナウイルス感染症の動向を受け募集を一時中止しておりました、健康のまちづくりを広域多職種連携協働・理論×実践で学ぶセミナー事業「健康のまちづくりアカデミー」を、完全オンライン化して再開いたしました。秋にオンラインで講義やワークショップを受け、春までに各自で健康のまちづくりを実践、3月に成果発表し修了の予定です。高校生から病院長先生まで、幅広い参加者が参加されています。<http://www.kenko-machizukuri.net/academy/>



○総合診療・総合内科センター General 道場会(ど~しよう会)を開催しました

総合診療医、総合内科医の仲間を増やすだけでなく、他科の先生方も含めて同じ志を持った同士と切磋琢磨できる場として、「General 道場」というプロジェクトを2021年8月より立ち上げました。「General 道場」は福井県内の全科3年目以上の先生方を対象としており、特徴は、①当センターと連携施設にあたる施設へ自己研鑽のため研修に向かうことができる制度の利用、②General 道場会という名の症例検討会の開催です。

早速、ご登録をいただき、2021年10月よりGeneral 道場会(通称:ど~しよう会)を月1回開催しています。症例検討会ではありますが、General 道場に登録いただいている若手医師を中心に堅苦しくはなく、雑談もできるような会を目指しています。参加者から「相談しやすく、話をしやすい会である」と好評の声をいただき、嬉しく思っています。今後も月1回の開催を継続していく予定です。

○総合診療・総合内科センター 地域住民への拡大検診を実施しました

人口減少時代、医療撤収時代において、不要な入院を減らそう！！を目的に2019年から年2回の拡大検診を実施中。その名も「若狭町生き抜くプロジェクト」。通称WASP(Wakasa Town Surviving Project)。←かっこいいでしょ～？ エコー、血液検査、身体機能、栄養指導など各分野のスペシャリストが集結して対象者に向けて積極的に治療介入(お節介やき)をしていきます。特にフレイル、サルコペニアなどの老年症候群の早期検出と予防に力を入れており、前回の検診からは筋肉量だけではなく質をエコーで測定しようとする取り組みも実施中(おーマニアック!!)。節目となる今回は2日間で約100人の住民にお越し頂きました。スタッフには医学生や研修医にも参加頂いており、卒前及び卒後IPE(Inter Professional Education)を実践する場として発展させたい！！と企んでいます。次年度からは栄養の領域をさらにバージョンアップさせたSeason2(鬼〇と同じ)が開催予定です。お楽しみにね♡



【岐阜支部県活動報告】

●岐阜県

【報告】

1)『第46回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス』

日時:2021年9月3日(金)18:30~20:10

場所:Web開催(Zoom)

内容:1)症例ディスカッション2例

2)ミニレクチャー 木沢記念病院泌尿器科 部長 横井繁明先生

「前立腺肥大症の外科的治療について」



3)特別講演 岐阜大学医学部附属病院循環器内科 講師 山田好久先生

「新しい高血圧・心不全加療の考え方」

参加:研修医12名、指導医20名

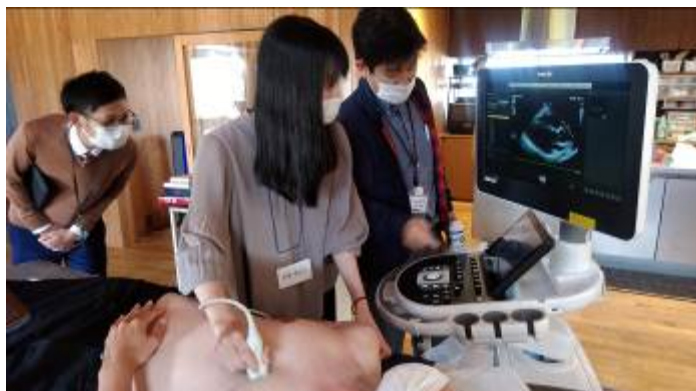
2)『第1回在宅診療で役立つ超音波検査ハンズオンセミナー(胸部)』

日時:2021年11月20日(土)13:00~15:40

場所:総合在宅医療クリニック

内容:全3回のうちの最初の1回目で、講師1名に対して受講者2名での胸部超音波ハンズオンセミナーを開催した。当日は天気も良く、手指消毒、窓を開放するなど十分な感染対策を行って実施した。最初に到達目標を提示し、最後に異常エコーの動画供覧を行った。受講者全員が到達目標を達成することができ、指導者を含め好評であった。

参加:受講者18名(専攻医8名、研修医8名、指導医2名)、指導者8名、モデル学生8名、企画1名の計35名。



3)『第3回ジェネふらセミナー』

日時:2021年11月28日(日)16:00~18:30

場所:Web開催(Zoom)

内容:16:00~ オープニング&アイスブレイク

16:20~ 岐阜県の総合診療の現場で活躍中の3名の医師の講演

17:35~ 振り返り

18:05~ クロージング&事後アンケート

19:00~ 懇親会

参加:記載をお願いします。写真添付も可能です。

【予定】

1)『第2回在宅診療で役立つ超音波検査ハンズオンセミナー(腹部)』

日時:2022年1月22日(土)13:00~15:40

場所:総合在宅医療クリニック

内容:全3回の超音波検査ハンズオンセミナーの第2回。

2)『第4回日本プライマリ・ケア連合学会岐阜県支部会』

日時:2022年2月19日(土)14:00~16:00

場所:Web開催の予定

内容:検討中

【石川支部県活動報告】

報告事項なし

【愛知支部活動報告】

報告事項なし

<支部運営についての情報>

- 各県の代表窓口は下記の方々です

三重県；宮崎景、富山県；山城清二、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、愛知県；佐藤寿一、福井県；林寛之、静岡県；井上真智子

- プログラム責任者の会中部ブロック代表；大杉泰弘（藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム）

- 中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。

木村 悦子（中部ブロック支部事務局） e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp